

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 25 日作成)

委員会名	土・基礎工事小委員会	主 査 名：青木 功
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	目的：「土・基礎工事の施工技術に関する「Q & A 集」の作成 2001 年度：施工技術の現状把握および現場調査 2002 年度：企画・編集方針等に関する検討 2003 年度：原案作成 2004 年度：査読・訂正・発行	
委員構成 (委員名(所属))	青木 功(テクノックス) 石井貞美(鹿島) 伊勢本昇昭(戸田建設) 秋山裕紀(都市基盤整備公団) 有泉浩蔵(東京電力) 石井善一(大成建設) 伊藤淳志(関西大学) 岸田 了(清水建設) 佐藤英二(竹中工務店) 佐藤秀人(日本大学) 佐藤眞弘(大林組) 田中昌史(大洋基礎) 直江泰夫(成幸工業) 伏屋行雄(日特建設) 三町直志(日本設計)	
設置 WG (WG 名：目的)	設置WG には、JASS3, 4 に連動させて杭WG と山留WG があり、杭WG は杭工事関係、山留WG は山留関係に関する「Q & A 集」の原案作成をすることを目的とする。	
2003 年度予算	150,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年： 5/13 (10 人) 7/16 (7 人) 9/30 (8 人) 11/27 (10 人) 2004 年： 2/24 (9 人)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1. 2001 年度および 2002 年度の成果を踏まえて、杭WG は JASS4 山留WG は JASS3 に対応させた具体的「Q」の抽出とそれに対応した「A」の原案の執筆を担当ごとに行った。その結果、杭関係 Q & A, 山留関係 Q & A それぞれ 150~170 ページ程度の「Q & A 集」となる予定である。 なお、本刊行企画に関する概要については、材料施工委員会(2003/9/19)に付議し承認された。 2. JASS3.4 の「SI 単位版」の刊行 単位系を SI 単位系とし、併せて改正された建築基準法および関連法規との整合および本会の最新関連指針等との整合を図り、SI 単位版として刊行した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 目標の達成度は、概ね 90% である。
その他評価すべき事項	特に無し